

消費税10%増税の中止を
東海第二原発再稼働反対、廃炉に



くらしの
たのもしい守り手

日本共产党

水戸市議会議員

なかにわ次男

プロフィール

- 1946年(昭和21年)6月、水戸市大工町生まれ。68歳
- 市議会議員7期28年。
- 五軒小、水戸二中、水戸一高、茨城大学教育学部卒。
- 県立水戸飯富養護学校PTA会長、見川学区子ども会育成会副会長、原水爆禁止茨城県協議会事務局長など歴任。
- 水戸市議会都市建設委員会委員長、100条委員会委員長、総務環境委員会委員など歴任。
- [現在]日本共产党県委員、第二桜川住宅町内会長、市議会文教福祉委員会委員 ● [家族]妻、一男一女
- [住所]水戸市見川5丁目1251-87

水戸市日本共产党後援会・なかにわ次男事務所
水戸市見川5丁目26-4 電話 251-8132

困っている人の力強い味方



▲生活相談にのるなかにわ市議

なかにわ市議はこの12年間、毎週水曜日と土曜日に無料生活相談所を開設。介護、生活保護、年金、市営住宅の入居、サラ金の多重債務の解決などに力をつきました。

「失業し、家賃も払えなくなり、お金は数千円しかなく、餓死しそうになった。なかにわ市議に救われ、生きる希望がもてた」との声が寄せられています。

●なかにわ市議携帯 ☎ 090-4953-5957



暴走ストップへ力あわせて

安倍政権は年金や介護・子育てなどの社会保障や、地域を支える中小企業や農業を切り下してようとしています。今ほど住民のくらしを守る県政や市政が求められているときはありません。

住民の声や困りごとに耳をかたむけ、親身になって解決に力をつくすなかにわ市議は市民のくらしにとってなくてはならない人です。

ご支援をよろしくお願いします。

後援会入会 申込書	住所
	氏名

なかにわ次男のお約束



くらしと営業をまもる市政を

- 高すぎる国保税の一世帯1万円引き下げ
- 水道料金など公共料金の値上げストップ
- 住宅リフォーム助成制度の実施を
- 青年の雇用拡大と正社員雇用をはかる
- 地元商店会の行事に市補助の増額を
- 米価暴落対策で農家に市補助の実施を

高齢者・障害者福祉の充実を

- 介護保険料、利用料の値下げ
低所得者に市独自の減免拡大を
- 特別養護老人ホームの増設を
- 要支援高齢者に訪問介護と通所介護の充実を
- 障害者福祉作業所の増設を

子育てしやすい水戸市に

- 高校3年生までの医療費無料化の実施を
- 小学校、中学校の全学年で30人学級に
- 認可保育所を増設し待機児童ゼロに
- 全小学校で6年生まで開放学級の実施を

安全なまちづくりを

- 東海第二原発を廃炉に
- 生活道路、通学路の整備を促進
- デマンドタクシーの実施、バス路線の存続を

願い届けて7期28年、皆さんと共に行動、実現

国保税一世帯1万円値下げを



値下げを訴えるなかにわ議員



国保税は10年間で5回も値上げ。水戸市は滞納者の年金までも差し押さえ。なかにわ議員は国保税値下げの署名運動を進めています。

見川小・中学校 ・幼稚園が改築へ



完成予想図

なかにわ議員は老朽化した見川小・中学校、幼稚園の改築工事をこの10年間、市議会で15回も主張しました。今年度から見川中学校の改築工事がはじまりました。教室にはエアコンが設置されます。



日本共産党以外は値上げに賛成
これで暮らしを守れるでしょうか？

値上げに対する各党の態度

(○反対、●賛成)

	共産党	自民党	公明党	民主党	社民党	無所属
2012年度	介護保険料17.4% 4億9000万円	○	●	●	●	●
2013年度	国保税 9.2% 5億5500万円	○	●	●	●	●
2014年度	下水道料金12.7% 3億円	○	●	●	●	●
	水道料金10.7% 4億円	○	●	●	●	●

行動力、実績抜群

水戸市議会議員 なかにわ次男



みなさんのご支援のもと、7期28年間、市会議員として働いてきました。

いま安倍内閣のもとで、消費税増税、集団的自衛権行使で海外で戦争する国づくり、原発の再稼働など國民の5割から7割が反対する暴走政治が行われています。

アベノミクスで大企業が大儲けし、一方で非正規労働者が増えるなど、貧困と格差が広がり、子ども、高齢者、障害者にも温かい市政がもとめられています。

私は弱いものにこそ政治の光があたる水戸市政をめざし、全力をつくします。ご支援をお願いします。

安倍内閣の暴走政治ストップ

なかにわさんの歩み 差別のない社会を

水戸市大工町の「おもちゃのなかにわ」の二男として生まれ、五軒小学校、水戸二中、水戸一高、茨城大学に進み、差別のない社会をつくりたいと日本共産党に十九歳で入党しました。

四十歳で初当選

大学卒業後、日本共産党の専従職員となり四十歳で市会議員となりました。



初当選後、街頭で訴えるなかにわ議員

学校給食費や教材費を市が補助する就学援助の拡大を繰り返し要求し、昨年4月から対象基準が拡大されました。

就学援助の対象者が拡大



水戸市に対象拡大を要望

海外で戦争する国づくりに反対



水戸市内の平和行進(2014年7月)

なかにわ議員は集団的自衛権行使はアメリカと一緒に海外で戦争するためであり反対だと訴えています。

要望実現のため必ず発言 市会議員になつてからは議会ごとに必ず発言し、中学三年生までの医療費補助制度などを実現させてきました。

障害児の親として

なかにわさんは障害児の親として、飯富養護学校のPTA会長もつとめました。議会では福祉作業所増設、難病患者見舞金の実現に力をつくしました。

町内会長として活躍

地元では長年にわたり町内会長として道路、公園、排水路、集会所の整備などにとりくみ、信頼を集めています。